



2024年のテーマ「リアル：本気のモノ作り」

代表取締役 山口 哲生

2020年から2022年の3年間は、歴史的にも記憶されるコロナ感染の猛威の中であり、2023年はようやくコロナも落ち着き回復の道を探る年となった。続く2024年は、コロナ後の本格的な回復を実現していく年になると考えています。

一般的に製造業では「リアルとデジタルの適切な融合のもと、生産性を上げ適切な利益を得て生活の質を上げていく」と言われているが、我々は「リアルに本気のモノ作り」をテーマとして取り組んでいきます。

混乱の3年間が終わり、どういう企業が揺るぎない存在価値を示したかを熟考した結果、やはり確固たる基盤(=ベース)、積み重ねられた基盤を持っている企業が強かったという印象を持っています。

1990年以降は、デジタル技術の急速な進出と普及により、モノ作りのリアルな部分が揺れた時代でもあったように感じています。リアルとは「不易流行」の不易の部分であり、具体的には本人の技術・技能の錬磨であり、先輩から後輩への伝承であったり、新しい技術の習得、チームをしての協調性でもあったと考えています。

我々は経営理念でも示しているように「モノ作りの価値向上に努力する」ことを大方針としています。コロナ後の回復が本格化する2024年「リアル＝本気のモノ作り」をテーマに、我々は具体的な行動を起こしていきます。

— 以上 —

New Year 's Goal: Real Manufacturing

2023 has been a year of finding a way out to recover from the coronavirus pandemic since we spent the past 3 years, 2020 to 2022, under menace of the invisible enemy. ; the following year 2024 is going to be a time for us to take specific actions.

Generally speaking, in our industry, manufacturing productivity and profitability can be enhanced by both digital and analog technologies at the same time.

Reviewing the chaotic three years, it appears that companies accumulating knowledge and skills as their strong information base successfully survived the hardship in the end.

Since 1990's, when digital technologies rapidly developed and diffused, the "real" side of manufacturing has stood on the edge of precipice. The "real" side means the analog side, which is usually traditional and unchangeable, for example, practicing and brushing up, teaching and handing down skills, mastering new methods, and teamwork.

One of our mission statements is "to work for revaluing manufacturing." We will take concrete actions toward our theme "Real Manufacturing" in 2024 when the world moves on to crucial phases to make a recovery.

Tetsuo Yamaguchi
President, Kyowa Kikoh Co.,Ltd.

挑戦

Vol.32 溶接について（品質保証と教育）

Vol.29と31では、溶接への教育の取り組みと品質保証の取り組みを紹介致しました。今号ではまとめとして、品質保証のための溶接教育についてご紹介致します。



溶接は「特殊工程」と呼ばれています。特殊工程で製造されたものは、後から行う検査では品質基準が満たされているかどうかを十分に検証することができません。ですので、特殊工程で製造された製品の品質を保証するためには、製造のプロセスが妥当であることを証明する必要があります。妥当性を証明するための取り組みの一つが、溶接士の教育と訓練です。

協和機工では、基本的な溶接技能向上を目的としたJIS資格取得やベテラン作業員による講義の他、品質保証のための取り組みとして、新規鋼材に対応するための訓練と教育の機会を設けています。新規鋼材は、会社として初めて取り扱う鋼材の場合と溶接士にとって初めて取り扱う鋼材の2つのパターンがあります。

「会社として新規鋼材の場合」

事前にPQR(溶接施工方法確認試験記録)取得の時間を設け、各種試験を行い問題がないことを確認した後、溶接士の技量訓練を行っております。最終的には社内認定訓練を実施し、試験に合格した溶接士のみ工事に対応します。



「溶接士にとっての新規鋼材の場合」

初めて取り扱う鋼材を使用して技量訓練を行い、試験に合格した人のみ工事に対応することが出来ます。



溶接士の訓練では、座学により力を入れています。技量は今まで学んできた技能の応用によるところが大きいですが、知識は座学から学ばなければなりません。座学ではPQR取得時に集めた情報を基に、溶接時に理解していて欲しい内容を中心に講義を行います。PQRを取得する際は、ウェルディングエンジニアと溶接士が連携して取得を目指します。講義の中では、PQR取得時の溶接士から溶接時のポイントを話してもらい、情報を共有しています。知識に裏付けされた溶接を行うことで製品の品質の妥当性を確保することが出来ます。ウェルディングエンジニアが中心となり溶接士一人ひとりが知識と技量を高め、会社として良い品質の製品をお届けできるよう品質保証と教育により一層取り組んで参ります。

KYOWA VIETNAM NEWS

10月までKyowa Vietnamへ出向していたタアンさんの現地レポートです。

2021年7月から2023年10月までの2年3ヶ月間の駐在を終えて日本に戻りました。

ベトナムに帰ったときコロナウイルス感染状況が厳しい時期で、ベトナム政府より様々な規制がかかりました。そのせいで3ヶ月間ほど隔離が続き、2021年10月にやっとキョーワベトナムに行くことが出来ました。

キョーワベトナムの工場があるベトナム南部の気候は雨季と乾季に分かれており、年中気温が温かいです。寒がりの私にとって南部の気温が好きです。

食べ物も美味しく、料理が豊富です。朝ご飯はフォーやフーティウ、チャオロン、バインミーなど色々な種類があり、毎朝何を食べるか悩んでいました。私は10年ほど体重が変わりませんでした。おいしい食べ物のおかげで日本に戻るころには十何キロも体重が増えていました。

皆さん機会があれば是非ベトナム料理を食べてみてください。期待を裏切らないはずですよ。

キョーワベトナムに出向している間は、社員の皆さんが優しく色々なことを教えてくださいました。品質管理の仕事だけではなく他の仕事もしました。そのおかげで様々な知識を身に付けることが出来ました。キョーワベトナムでの経験を今後の仕事や生活に活かしていきたいと思えます。





第33回家族会

—令和5年11月3日(金)—



今年で33回目となる家族会を開催いたしました。
昨年よりも規模を拡大し、参加型レクリエーションの数々で盛り上がりました！

開会の前に内定者や従業員のご家族へ工場をご案内。



食事の後は、インストラクターの井福先生にならってエアロビを行いました！



山口社長より開会のご挨拶と乾杯の音頭。



初の取組みとして、お子さんにも伝える会社紹介を行いました！



社外取締役の原田様も餅つきに参加されました！



4年ぶりに振舞われた、ベトナム人社員によるフォーが大人気でした！

ビンゴ大会

何番が出るかな？



一等賞はエアロビのインストラクター井福先生が当選されました！



ビーチボール運びルール

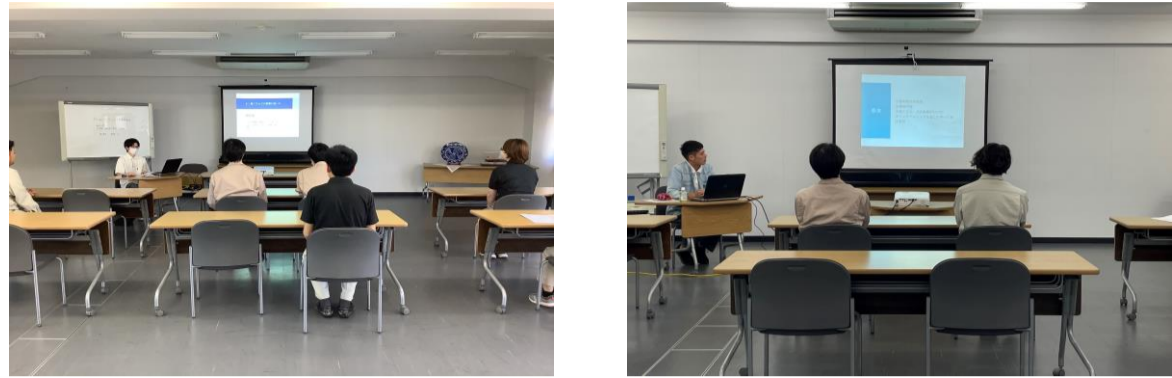
やったー！



原口さんチームが優勝しました！



大学生インターンシップ(9月)



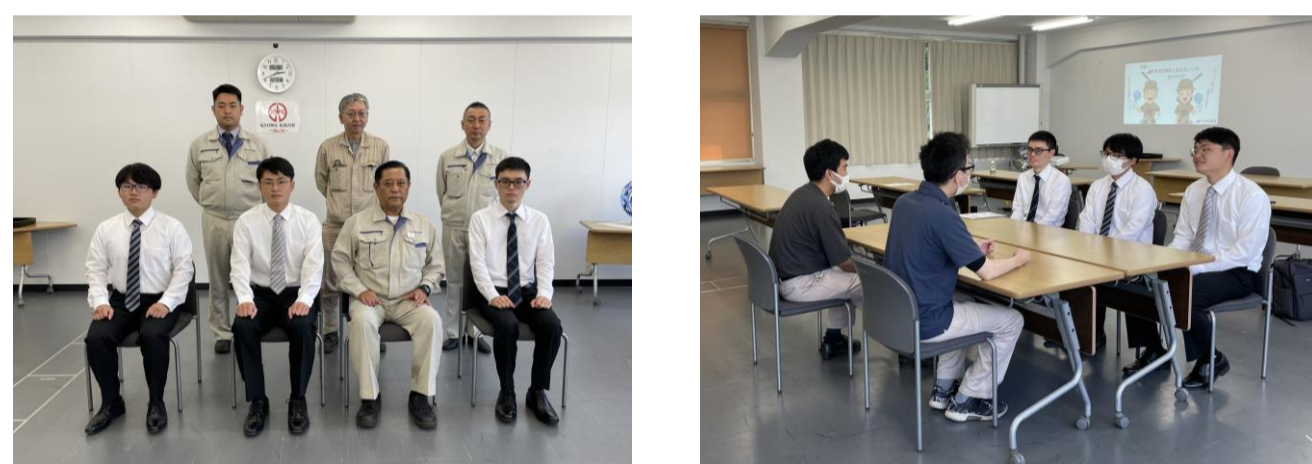
福岡大学、北九州市立大学より1名ずつが5日間のインターンシップを体験しました。

佐世保工業高校インターンシップ (2023.10.17-19)



佐世保工業高校の電子機械科より2名が、3日間のインターンシップを体験しました。

内定式(2023.10.13)



来年度入社予定の大卒内定者を招いて、内定式を行いました。
工場見学や社員との座談会では熱心に話を聞かれていました。
皆さんと一緒に働ける日を、社員一同心待ちにしております。

▶ 人事通信

—令和5年12月1日現在—

🌸 合格おめでとうございます！ (敬称略)

◆2023/10/11付 交付

- ・クレーンデリック運転士(クレーン限定)
K.S. (工作本部 造機課 造機6係 係員)
K.H. (工作本部 造機課 造機3係)

👶 ご誕生おめでとうございます！

令和5年10月生まれ

工作部 船殻課
T.Y. 氏 第三子 三男

H くん



👤 人事異動 (敬称略)

◆2023/10/01付

- ・工作本部 部長代理(兼)生産技術課 課長
J.Y. (旧. 予算管理センター 部長代理(兼)工務Gr 課長)
- ・予算管理センター 工務Gr スタッフ
R.K. (旧. 営業部 大阪支店 技術営業)
- ・工作本部 造機課 造機6係 係員
K.S. (旧. 工作本部 造機課 造機6係 班長)
- ・工作本部 造機課 造機6係 班長
J.U. (旧. 工作本部 造機課 造機6係 班員)
- ・工作本部 造機課 造機6係 班長見習
S.N. (旧. 工作本部 造機課 造機6係 班員)
- ・工作本部 造機課 造機3係 班長見習
M.I. (旧. 工作本部 造機課 造機3係 班員)